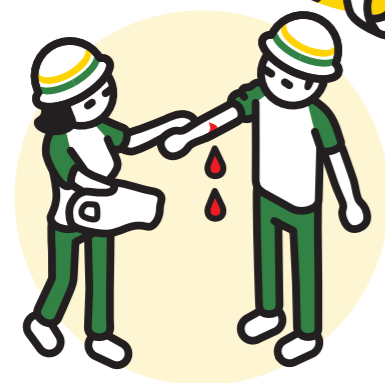


いまやろう！



身のまわりのものでできる  
止血の方法を覚えよう



レジ袋などを  
手にかぶせる  
※血に直接さわらない



清潔なガーゼや  
ハンカチなどを  
傷口にあてる



傷口を心臓よりも  
高く上げ、  
強くおさえ続ける



血が止まったら、  
包帯やハンカチ  
などで固定する

身のまわりのものでできる止血の方法を覚えよう

ケガをして、傷口から血が出ている人がいたら、傷の手当てをしてあげましょう。包帯やガーゼなど、特別な道具がなくても、自分のまわりのものを使って、血を止めることができます。まず、この方法で簡単に手当てをして、その後、病院へ連れて行きましょう。ケガがひどい場合は、周りの人に救急車を呼んでもらって、救急車を待っている間に手当てしましょう。

止血のしかた（血の止め方）

1. レジ袋などを手にかぶせます。ケガ人の血に直接さわらないでください。血にさわると、感染症になるリスクがあります。
2. 清潔なガーゼやハンカチなどを傷口にあてます。
3. ガーゼやハンカチでおさえながら傷口を心臓より高く上げます。傷口をそのまま強くおさえ続けてください。
4. 血が止まったら、傷口に当てた布を、包帯やハンカチ、ネクタイなどで動かないようにします。布が動かないようにしてください。

【いまやろう！】

1. 止血に使える大きなハンカチやポリ袋などをカバンに入れておきましょう。
2. 家族や友人など、近くの人と、止血の練習をしてみましょう。

📖 こちらも CHECK : 「コミュニティを守る」<sup>まも</sup> ①、④